

平成28年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	市民ネット・むろらん
議員名	水江一弘・児玉智明・佐藤潤・小田中稔・高橋直美・立野浩靖
調査実施年月日	平成28年10月20日
調査先 自治体名等	郡山市
調査項目	「地域を生かした教育環境パワーアップ事業」
調査目的	地域と学校連携についての取り組み調査
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口：335,657人(H28.4.1現在) 行政面積：757.20 km²</p> <p>2 視察内容 「地域を生かした教育環境パワーアップ事業」について</p>
感想(まとめ) 本市へ生かせること等	<p>この事業は「学校の教育環境パワーアップ」と「学校外の教育環境パワーアップ」の両面から地域住民等の民間の方々が学校を支援する活動であり、郡山市内の全小中学校86校を対象としている。</p> <p>学校内の教育活動はもとより、放課後や土曜日等の休日、夏休みや冬休み等の学校外における諸活動に、地域住民等の民間の方々の参画を得て、子どもたちの学びの環境の充実を図ることを趣旨とし、学校と地域の連携を生み出し地域の教育力の向上及び地域住民の生きがいつくり、地域コミュニティの充実を図ることをねらいとしている。</p> <p>担当者の説明として、「学校の教育環境パワーアップ」では、各学校の計画により、年間をつうじて専門的な知識や技能を有する地域住民等の民間の方々と教員との協同授業を通して、日常の授業の一層の充実が図られており、その結果、児童生徒の学習内容の理解の深まりと学習意欲の向上において成果が認められており、また、「学校外の教育環境パワーアップ」では、放課後や土曜日等の休日、夏休みや冬休み等に、地域住民や大学生等の協力を得て、全小中学校の児童生徒を対象に公民館等の公共施設で、希望者への学習支援や体験活動支援を行っているが、多くの児童生徒が学ぶ喜びを味わい、学習意欲が向上。また、参加児童生徒数及び講師等支援者数も増加している等、効果について伺った。</p> <p>この事業のメリットは、地域人材による地域主体の持続的・計画的な学校支援の充実と、多様なカリキュラムへの人材の積極的な活用や放課後・休日等の学習活動の支援による学ぶ内容・機会の充実、また、学校における事務の軽減にある。</p> <p>事業の推進にあたっては、PTA、地区団体役員経験者や教員OB等からなる「地域コーディネーター」を中学校区単位に配置(小学校にも必要に応じて配置)し、学校からの要望を受け、地域人材をコーディネートしている。</p> <p>また、郡山市の特徴として、平成26年度には、郡山市内の大学と協定を締結し、平成27年度から、協定に基づく連携事業として、学生ボランティアによる児童生徒の学習支援を行っている点が注目される。</p>

	<p>本市に於いても市内大学等との協定を結ぶなど、他都市の事例を参考に、地域や大学との持続的な学校連携事業を早期に推進すべきとの感想を持った。</p>
--	---